

# 第 5 期 決 算 公 告

2022年12月14日

東京都渋谷区桜丘町20番4号  
株式会社ブランジスタソリューション  
代表取締役社長 木村 泰宗

## 貸借対照表

(2022年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	274,421	流動負債	124,666
現金及び預金	184,270	買掛金	26,065
売掛金	65,038	未払金	58,014
その他	25,112	契約負債	31,255
固定資産	6,499	その他	9,330
有形固定資産	4,506		
工具、器具及び備品	4,506		
無形固定資産	0		
ソフトウェア	0	負債合計	124,666
投資その他の資産	1,992	純資産の部	
投資有価証券	2,500	株主資本	156,254
繰延税金資産	△ 507	資本金	5,000
		資本剰余金	48,905
		資本準備金	5,000
		その他資本準備金	43,905
		利益剰余金	102,349
		その他利益剰余金	102,349
		繰越利益剰余金	102,349
		(当期純利益)	(26,062)
		純資産合計	156,254
資産合計	280,920	負債・純資産合計	280,920

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

- ・ 工具、器具及び備品 定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

- ・ 工具、器具及び備品 4～5年

##### ② 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

ソフトウェア（自社利用分） 5年（社内における利用可能期間）

#### (2) 収益及び費用の計上基準

当社はECサポートやウェブサイト制作・運営等を行うソリューションサービスを提供しております。主に制作や運営の受託業務であり、成果物が顧客に検収された時、もしくは業務を履行した時点で収益を認識しております。

### 2. 会計方針の変更に関する注記

#### (収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。なお、当該会計方針の変更による影響はありません。

なお、収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当事業年度より「契約負債」に含めて表示することといたしました。

#### (時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、計算書類に与える影響はありません。

### 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数	当事業年度増加 株式数	当事業年度減少 株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式 普通株式(注)	200株	—	—	200株

(注) 自己株式はありません。

#### (2) 剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

#### (3) 新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

4. 収益認識に関する注記

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記「(2) 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。